

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および
K P I 実績値の公表について

2025年11月1日

I.取組状況

0 序文

2025年11月1日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

当会では、協同組合精神のもと、信用事業を通じて、農業の振興と地域社会の発展に貢献することを経営理念に掲げ、持続可能な経営基盤を確立し、環境が大きく変化する中であっても、地域に欠くことの出来ない金融機関として永続的に発展できるよう、組合員・利用者の皆さまへのサービス向上に取り組んでいくことを目指しています。

この理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、お客さまのライフプランや投資目的に“寄り添った”資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I」）も同時に公表いたします。

福井県信用農業協同組合連合会

I.取組状況

1 お客さまへの最良・最適な商品、サービスの提供

信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注) 原則6本文および(注2、3、6、7) 補充原則1~5本文および(注)】

- お客さまに提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、長期投資に適し、運用実績が良好であることや良心的な手数料であること等を考慮するとともに、投資運用会社におけるプロダクトガバナンスの取組みを把握したうえで選定しており、お客さまが商品選択に迷うことのないよう商品数を絞ってご提供しています。
- 商品の特性として「安定型」「積極型」「バランス型」を取り揃えており、お客さまのライフプランや投資目的に応じた商品をご提供いたします。なお、当会は金融商品の組成に携わっておりません。
- また、JAバンク全体として、金融商品を購入したお客さまの属性および販売状況に関する情報等について投資運用会社と相互に情報連携を行い、お客さまに適切な販売がされているかを定期的に確認し、製販全体でお客さまの最善の利益の実現を図ります。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ（2025年3月末時点）>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	4 (前年度末：4)
株式型	3 (前年度末：3)	5 (前年度末：5)
REIT型	1 (前年度末：1)	2 (前年度末：2)
バランス型	7 (前年度末：7)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

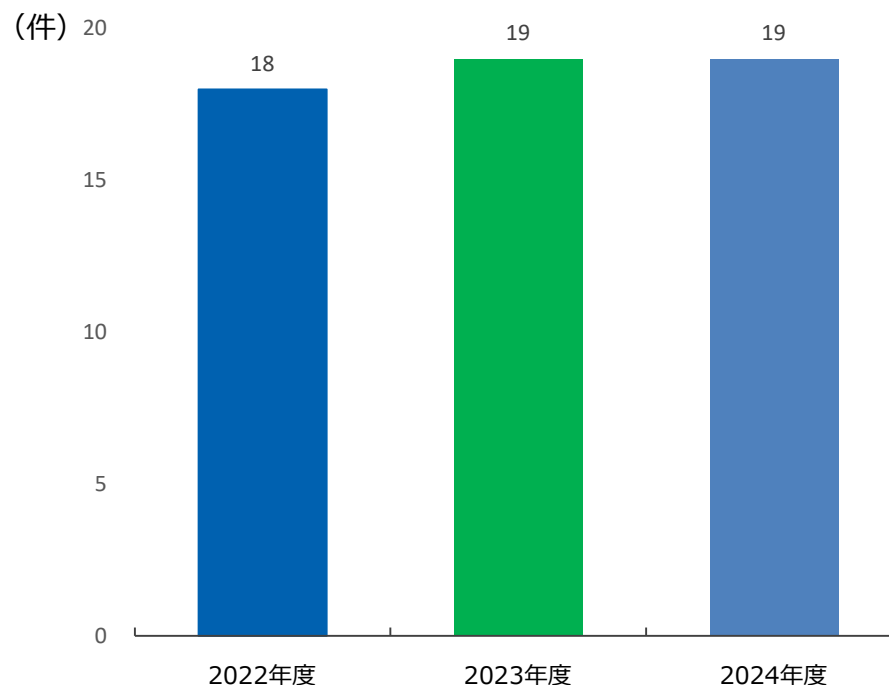
I.取組状況

2 お客様本位の提案と情報提供①

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1~5)、原則6本文および(注1~5)】

- お客様の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて、最適な商品を選択していただけるよう「JAバンク資産運用スタイル診断シート」を活用し、お客様の資産運用スタイルを把握するとともに、取扱商品の種類別、リスク・リターン別に図式化された「JAバンクセレクトファンドマップ」を用いてお客様の資産形成・資産運用に最適な商品をご提案し、属性・適合性を判断したうえで販売いたします。
- さらに、商品の重要な事項を容易に比較できるよう記載した「重要情報シート」を活用し、お客様目線に立ったご提案をいたします。

<投信つみたて契約件数の推移>



I .取組状況

2 お客様本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1.2.4.5）】

- お客様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について必要な情報を十分にご提供し、誤解を招くことのないよう分かりやすくご説明いたします。その際、お客様の投資判断を行う時間に配慮し投資判断を急がせるようなことはいたしません。
- また、お客様から問い合わせや相談を受けた場合は、最新の情報を提供しお客様の安心感や満足度を高めることに努めます。
- お客様にご負担いただく手数料や、換金・解約時の制限・不利益などについて、お客様の投資判断に資するように丁寧かつ分かりやすい説明に努めます。

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および(注)】

- 当会では、お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、「利益相反管理方針」を定め、利益相反の恐れのある取引を類型化、特定するとともに管理体制を構築し、利益相反管理の状況について確認しております。
- また、利益相反が生じる可能性がある場合は「重要情報シート」を活用し適切にご説明を行っております。

4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

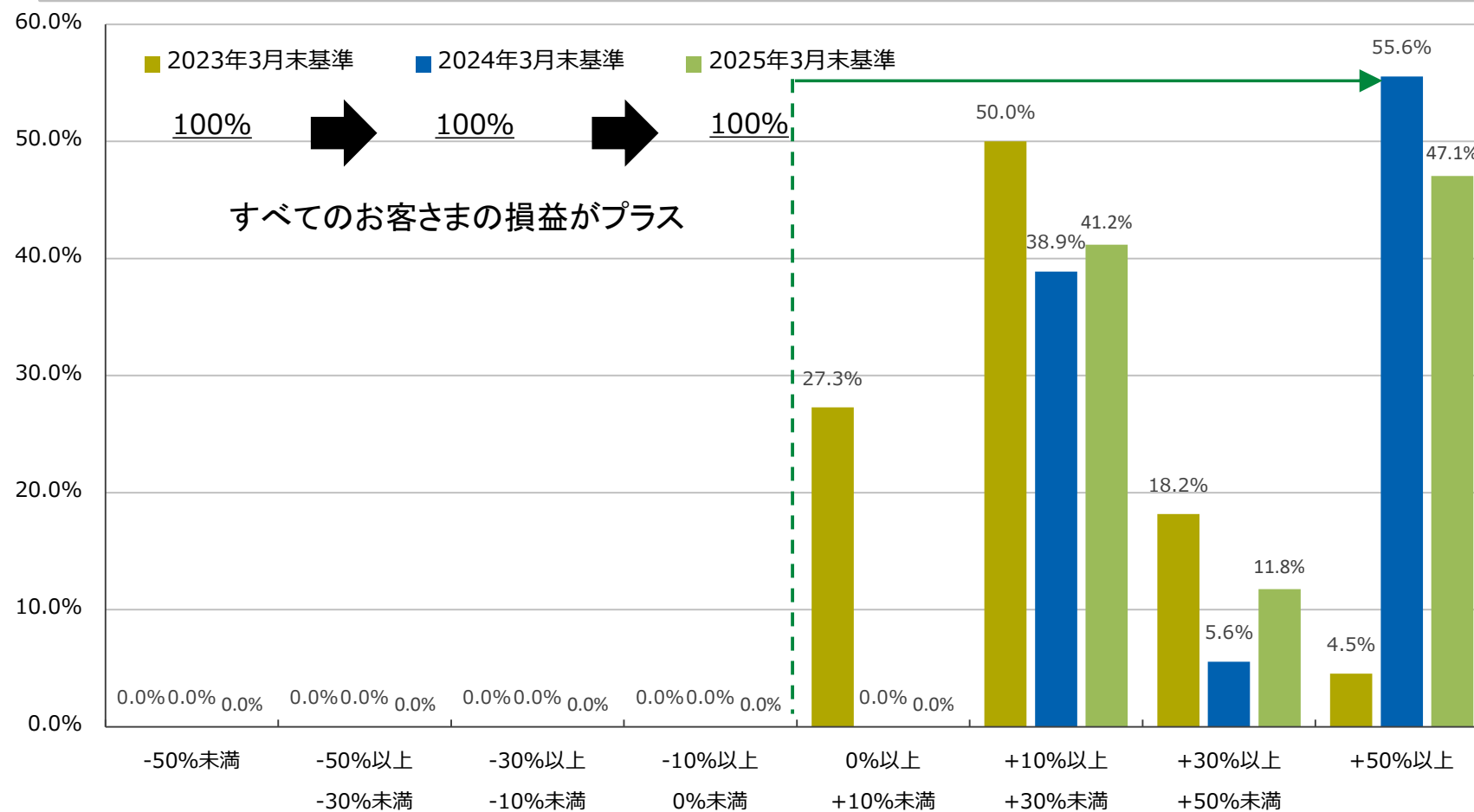
【原則2本文および(注)、原則6(注5) 原則7本文および(注)】

- 当会では、お客さまへ適時・適切な助言を行うため、ファイナンシャル・プランニング技能士（FP2級）の資格取得を奨励しており当会全体で知識の向上に努めています。
- また、投資信託に係わる役職員については、研修会や勉強会により高度な専門性を有し、資産形成・資産運用に精通した職員の育成を図るとともに、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築し、維持しております。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2025年3月末時点ではすべてのお客さまの損益がプラスとなりました。

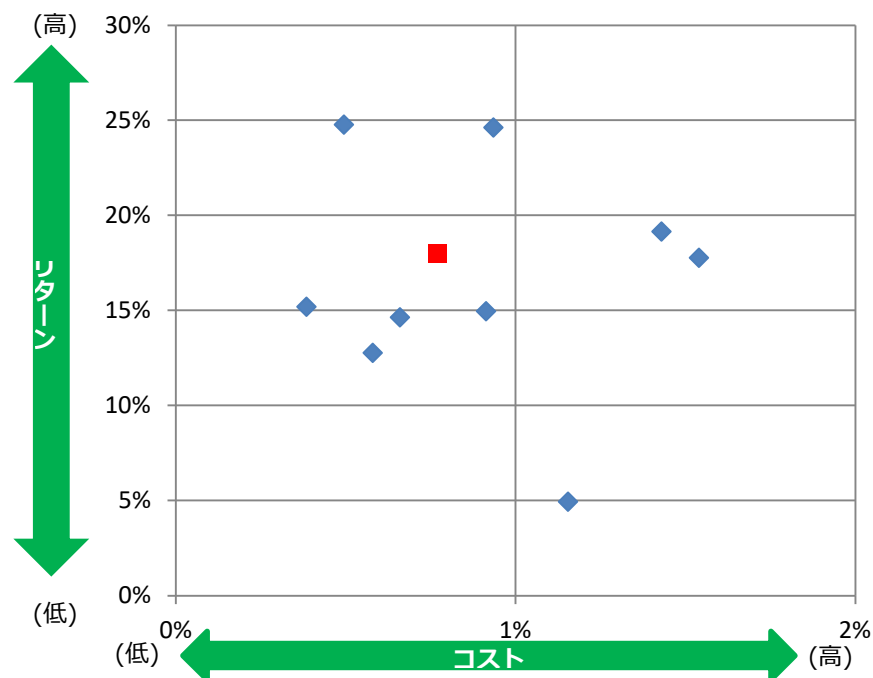


Ⅱ.比較可能な共通K P I

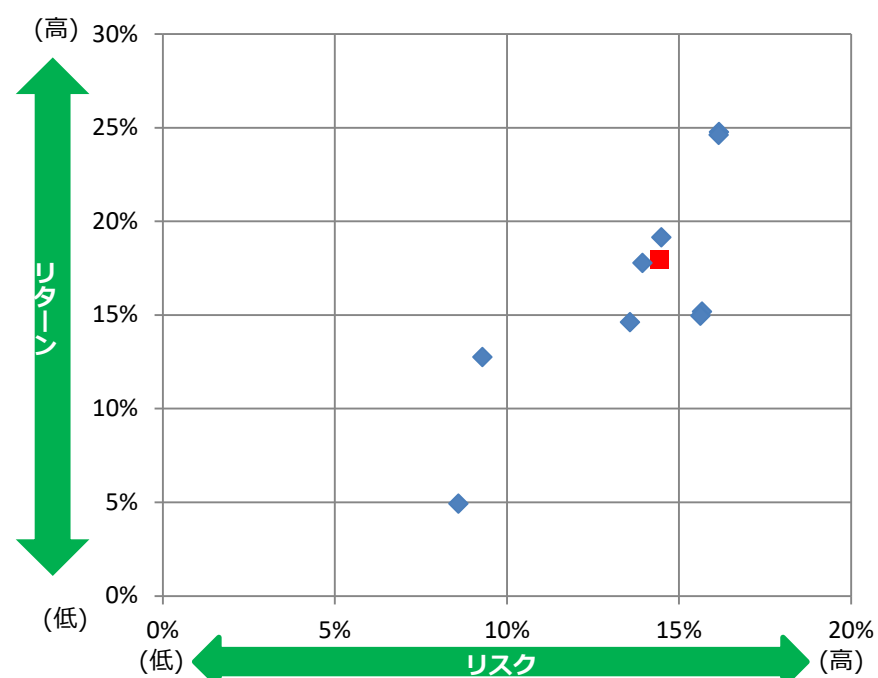
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2025年3月末)

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.77%、平均リスク14.44%に対して、平均リターンは17.98%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



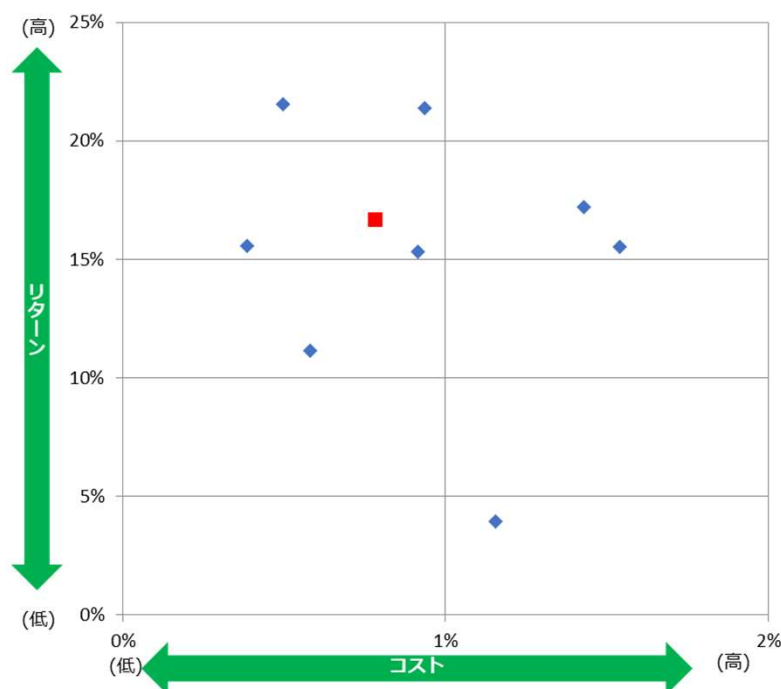
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

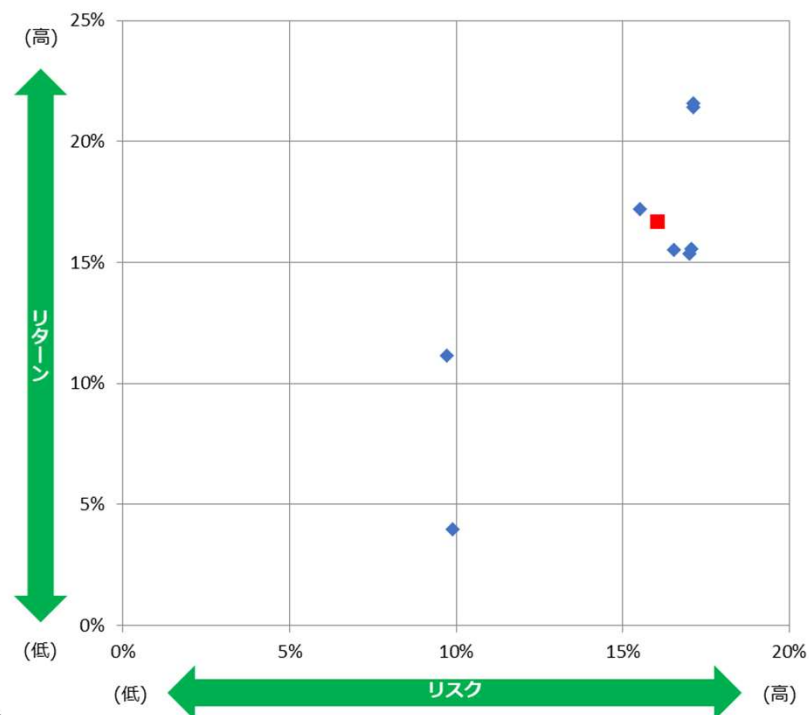
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2024年3月末)

- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.78%、平均リスク16.05%に対して、平均リターンは16.69%となりました。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



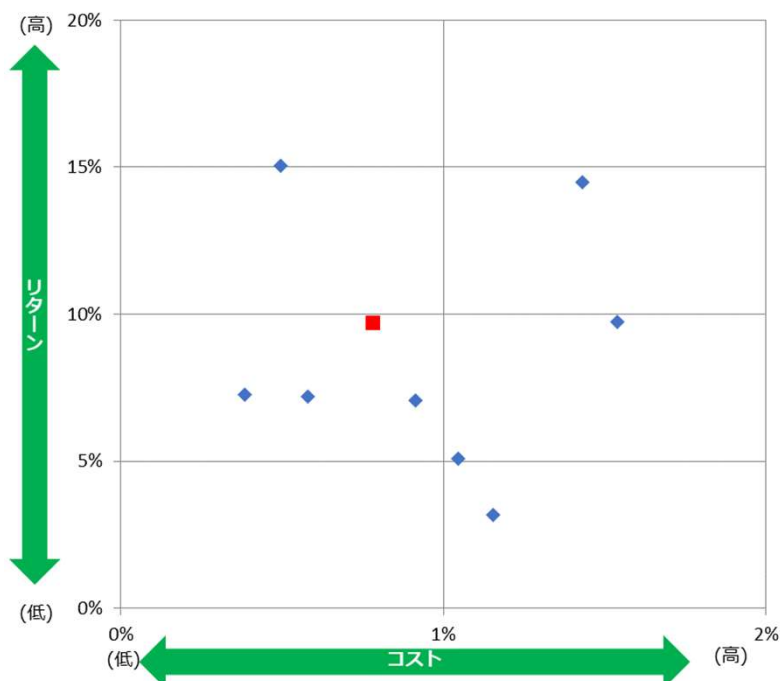
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

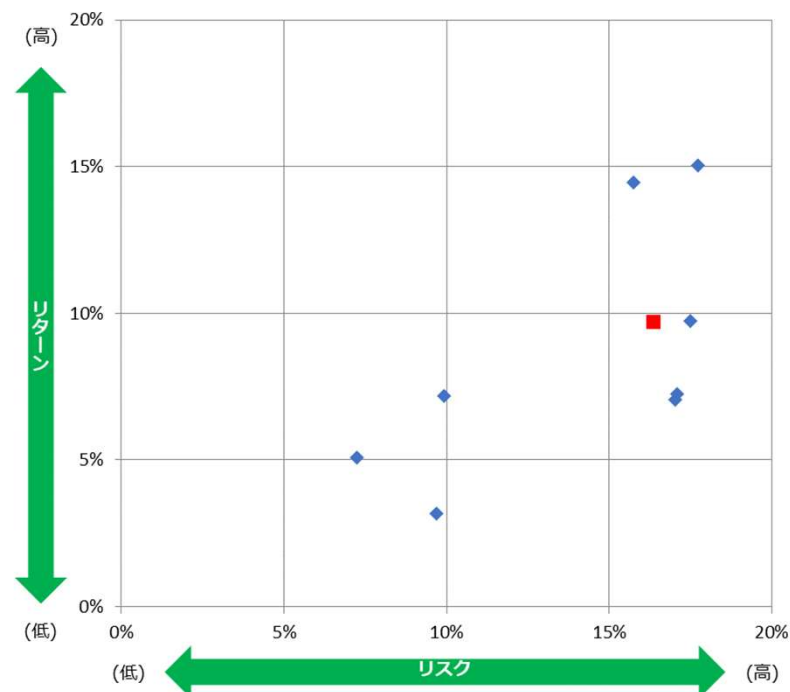
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.78%、平均リスク16.37%に対して、平均リターンは9.71%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2025年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	24.77%	16.16%	0.50%
2	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.19%	15.67%	0.39%
3	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	19.14%	14.48%	1.43%
4	おおぶねグローバル (長期厳選)	農林中金バリューインベストメンツ (株)	14.63%	13.58%	0.66%
5	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信 (株)	12.76%	9.29%	0.58%
6	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信 (株)	17.77%	13.93%	1.54%
7	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	14.96%	15.62%	0.91%
8	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	24.62%	16.15%	0.94%
9	日米6資産分散ファンド (資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	4.93%	8.59%	1.16%
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		17.98%	14.44%	0.77%

※ 2025年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は9本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	21.55%	17.11%	0.50%
2	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.34%	17.00%	0.91%
3	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.57%	17.06%	0.39%
4	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	17.22%	15.52%	1.43%
5	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信 (株)	11.15%	9.72%	0.58%
6	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信 (株)	15.53%	16.54%	1.54%
7	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	21.40%	17.11%	0.94%
8	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	3.95%	9.89%	1.16%
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		16.69%	16.05%	0.78%

※ 2024年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は8本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
2	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
3	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.26%	17.10%	0.39%
4	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
5	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.48%	15.74%	1.43%
6	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.73%	17.50%	1.54%
7	農中US債券オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	5.07%	7.26%	1.05%
8	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.16%	9.68%	1.16%
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		9.71%	16.37%	0.78%

※ 2023年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は8本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。